

令和2年度 決算の概要

効率的で計画的な事業・施設運営を行うとともに、構成市町との連携・共同により、安定した廃棄物処理事業を継続し、更なるごみの減量や再資源化に努めたほか、以下の取組を行いました。

令和2年度の主な取組み

- ①ごみ中継施設更新事業の推進（令和5年度稼働予定）
- ②新庁舎建設事業の推進（令和6年度供用予定）
- ③クリーン21長谷山長寿命化等の検討業務の実施
- ④事業協同組合へのし尿収集運搬業務の一括委託と臨時収集の受付業務委託の開始
- ⑤廃棄物発電やプラスチック製容器包装資源化事業などの循環型社会の構築に向けた事業の推進
- ⑥人事評価制度の活用や職場OJT活動の実施による人材育成及び組織力強化に向けた取組の推進
- ⑦環境マネジメントシステムに基づく継続的改善活動及び地球温暖化対策実行計画（第4期）の推進
- ⑧ホームページ・Facebook・広報紙による環境情報発信、京都文教大学との授業連携や組合キャラクターを通じた環境啓発の推進

管内住民の皆さんの年間の経費負担

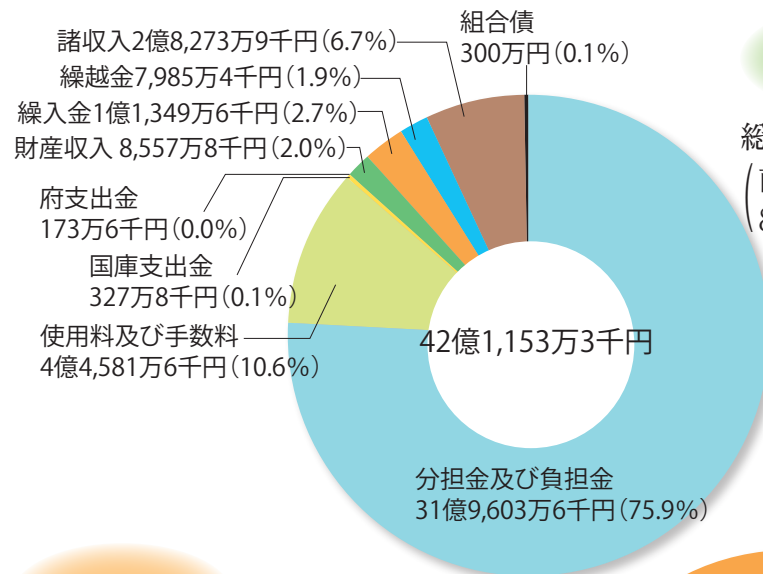
し尿処理：1,086円/人(1,416円) ごみ処理：7,780円/人(10,034円)

※管内人口：362,211人（令和3年4月1日現在）

※カッコ内の数字は前年度実績

歳入

総額 42億1,153万3千円
（前年度比3億8,340万4千円、
8.3%の減少）



歳出

総額 41億4,928万1千円
（前年度比3億6,580万2千円、
8.1%の減少）

